

補助事業番号： 20-1-017

補助事業名： 平成20年度 自転車環境整備促進等補助事業

補助事業者名： 財団法人 自転車産業振興協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 実施内容

#### ① 再生自転車の海外供与協力促進

再生自転車海外譲与自治体連絡会(MCCOBA)の平成20年度事業計画及び実施要領に基づき、次のとおり再生自転車の海外供与に伴う費用分担のうえ実施した。

(アジア)	ミャンマー連邦 等	6カ国	計	1,000台
(大洋州)	ソロモン諸島	1カ国	計	75台
(中東)	アフガニスタン・イスラム共和国	延2カ国	計	300台
(アフリカ)	マラウイ共和国 等	4カ国	計	1,000台

---

合計 延13カ国 合計 2,375台

#### ② 地域自転車競技振興促進

本年度の選考方針に基づき、ロードレース、MTB、BMX及びその他の競技会・講習会を実施する団体の58大会に対して、各主催者との費用分担の上、次のとおり実施した。

(ロードレース)	第7回枝折峠ヒルクライムinゆのたに 等	25大会	参加者	17,915人
(MTB)	第5回かかみ野MTBフェスティバル 等	14大会	参加者	3,808人
(BMX)	キング オブ グラウンド (KOG) 第3戦 等	3大会	参加者	380人
(その他)	2008東京都トライアスロン渡良瀬大会 等	16大会	参加者	7,994人
			合計	58大会
				30,097人

#### ③ オリンピックフェスティバルへの協賛

平成20年10月13日に駒沢オリンピック公園総合運動場にて開催された「2008オリンピックフェスティバル」へ協賛するとともに、自転車競技PRコーナーにおいてケイリン広報等のパネル展示等を行った。

#### ④ パレスサイクリング等運営

自転車の貸出・規制等業務

パレスサイクリングにおいて、貸出用自転車250台により、毎日曜日に37回開催し、自転車貸出数35,220人、自走・持込者推定24,277人、合計59,497人の利用があった。また、名城公園内サイクリングコースにおいて、貸出用自転車256台により、毎日曜日・祝祭日及び特定土曜日に自転車貸出業務を74回開催し延べ25,725人の利用者があった。

#### ⑤ 自転車安全利用推進等

##### 1) BAAマーク制度広報

消費者の安心・安全を第一に考えた、「自転車安全基準」の目印となるBAAマーク制度についての周知徹底を図るため、販売店向けハンドブック並びに消費者向けのリーフレットを作成の上、頒布した。

##### 2) パブリシティ活動

- ・東京新聞、月刊「時評」に対してパレスサイクリングに関する広告掲載を行った。
- ・日本経済新聞に対してパブリシティ広告を行った。

## (2) 成果

### ①再生自転車の海外供与協力促進

アジア、大洋州、中東、アフリカの延13カ国に、合計2,375台の再生自転車の海外供与協力促進を行ったことにより、自転車の再利用における資源の有効活用及び国際貢献を図ることができた。

### ②地域自転車競技振興促進

自転車競技大会（ロードレース、MTB、BMX等の競技会・講習会）が各地域で実施されたことにより、各種自転車競技の普及及び振興、自転車競技人口拡大、地域活性化に貢献できた。

### ③オリンピックフェスティバルへの協賛

オリンピックフェスティバルの開催により、同イベントを通じてサイクルスポーツとしての自転車競技の魅力をアピールすることができた。

### ④パレスサイクリング等運営

両サイクリングコースについては、開設以来多数の来場者をはじめマスコミ等関係者から業界の公益増進活動として高く評価され、地域住民の健全な体育活動増進をはかるモデル事業として定着したことは、自転車の安全利用の増進を図るうえで多大に寄与したものと確信する。また、パレスサイクリングは、テレビ、雑誌、WEBで計13件紹介される等、利用者増進に大きく貢献できた。

### ⑤自転車安全利用推進

BAAマーク制度広報の実施により、消費者に対して安心・安全で環境に優しく、品質の確かなBAAマーク付自転車を選択する意識を啓発することができた。

## (3) 今後予想される効果

### ①再生自転車の海外供与協力促進

社会的な国際貢献及び国内における放置自転車の再利用促進において有意義であるとともに、国際的にも高い評価を受け、今後、リサイクル及び国際貢献を一層促進させる効果が期待される。

### ②地域自転車競技振興促進

各地域での自転車競技大会等の開催は各種自転車競技の普及及び振興を促進し、自転車競技人口の拡大が図れ、かつ、地域活性化に貢献するものと期待される。

### ③オリンピックフェスティバルへの協賛

オリンピックフェスティバルの開催により、同イベントを通じて自転車の持つ本来の魅力をアピールすることができ、サイクルスポーツ人口の底辺拡大につながるものと期待される。

### ④パレスサイクリング等運営

本事業の実施により、地球温暖化防止策の一環として注目されている自転車の安全利用の拡大と交通事故防止推進のための貢献が期待される。また、幼児から高齢者に至る市民の健康及び体力増進に寄与し健全で明るい社会づくりに役立つものと期待される。

### ⑤自転車安全利用推進等

消費者の自転車に対する品質意識が高まり、より安全な自転車を購入する意欲が促進され自転車利用における安全性確保に寄与することが期待できる。また、メーカー、販売店においては、より付加価値の高い、高品質な自転車の需要が促進されると期待される。

## 2. 本事業により作成した印刷物

①パレスサイクリング運営	自転車乗り方教室用申込書	23,000枚
②自転車安全利用推進		
・販売店向けハンドブック	19,000部	
・消費者向けリーフレット	1,900,000部	

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 自転車産業振興協会(ジテンシャサンギョウシンコウキョウカイ)

住所：107-0052

東京都港区赤坂1-9-3

代表者名：会長 阿部 忠壽(アベ タダヒサ)

担当者名：統括事業部 次長 丸山 俊英(マルヤマ トシヒデ)

担当部署：統括事業部

電話番号：03-5572-6401

FAX番号：03-5572-6407

U R L：<http://www.jbpi.or.jp>